



【R3 学校経営の重点】
「チーム西小で未来輝く西小っ子に
最高の学びを！」

【キャッチフレーズ（児童）】
★やるぞ べんきょう! あいさつ!
★むびがす

令和3年12月9日 校長 渡辺 教浩
第766号 (No.16)

令和3年度全国学力・学習状況調査の概要

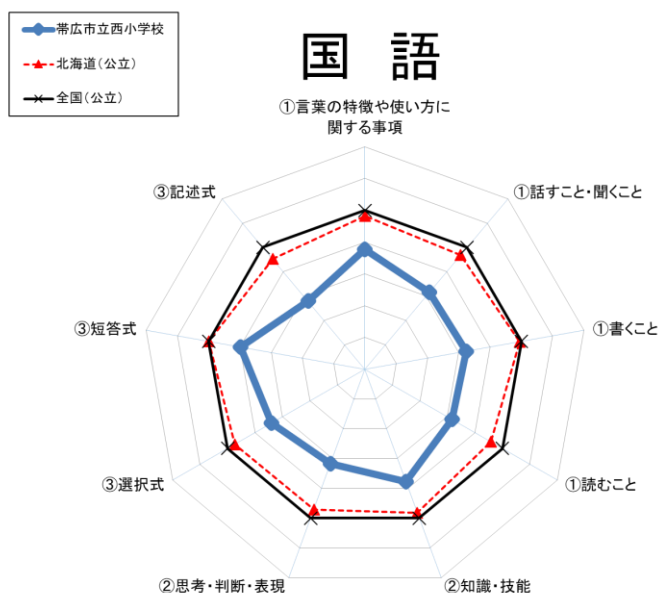
5月27日（木）に、6年生を対象に全国学力・学習状況調査が実施されました。本年度の結果について分析を行いましたので、成果と課題・傾向についてお知らせします。

～国語科～

○全国・全道の平均正答率を下回る結果となりました。

○特に、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の定着に課題が残りました。

○記述式問題の正答率が低い結果となりました。



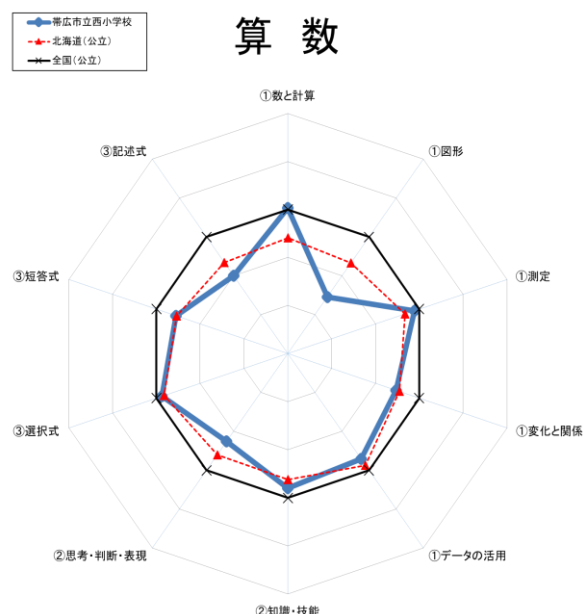
～算数科～

○全国平均正答率をやや下回る結果となりました。

○全道平均正答率と同等の結果となりました。

○「数と計算」「量と測定」領域での成果が見られました。

○「図形」領域に課題が見られました。



～児童質問紙～

児童質問紙は子どもたちの学習状況、生活状況、規範意識や自尊感情などを質問形式で回答したものを集計した結果です。

<学習状況>

○国語の勉強が好き、国語の授業内容がよく分かると答えた児童の割合が、全国全道平均と比べて高い。

○授業の予習や復習を含め、家庭で自ら計画的に勉強をしている児童が多い傾向にあります。

○児童は学習の中でコンピュータなどの ICT 機器を有効に活用できています。

<生活状況>

○朝食を食べる、同じ時刻に寝る・起きるなどの、基本的な生活習慣が定着しています。

○携帯電話、スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人との約束をきちんと守っていると答えた児童が全国平均と比べ低い割合でした。

<その他>

○自分にはよいところがあると答えた児童が全国平均と比べ、とても多いです。

○自己肯定感・自己有用感が高く、何ごとに対しても意欲的に取り組む傾向が見られます。

○人の役に立つ人間になりたいと思っている児童の割合が、全国・全道平均に比べて高い。

～改善策（学校としての今後の取組）～

（１）「話す・聞く」学習において、「書く」活動を取り入れて思考を整理したり、自らの話し方や聞き方を振り返り、見直す活動を取り入れるなどの工夫を、授業に取り入れていきます。

（２）算数科において、「図形」など、具体物を操作したり提示したりする学習では、ICT を効果的に活用してわかりやすい授業を行っていきます。

（３）家庭学習の習慣化を図るために家庭との連携・協力をより一層深め、個に応じた無理のない、家庭学習の質と量の向上を目指します。